

2026年 第30週7月20日～7月26日

西多摩保健所感染症週報

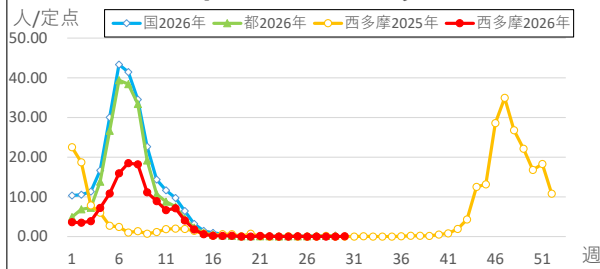
東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



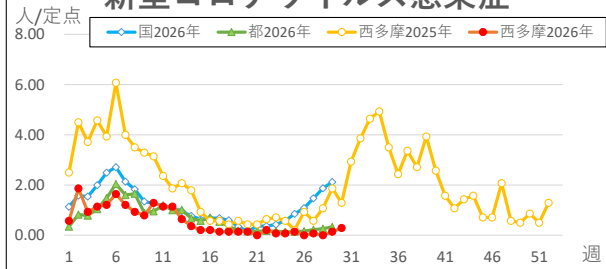
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 ()は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患は、レジオネラ症1件（60代男性）の報告がありました。
- 定点報告では、インフルエンザ0.07（0.00）、新型コロナウイルス感染症0.29（0.14）、マイコプラズマ肺炎2.00（0.00）が増加しています。
- *管内の感染症集団発生状況*** ()は内訳
- 手足口病1件（保育施設）の報告がありました。手足口病は今週も保育施設を中心に流行しており、石鹸と流水でこまめな手洗いが予防に効果的です。

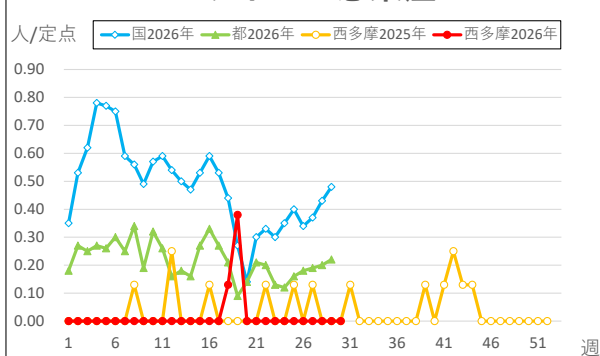
インフルエンザ



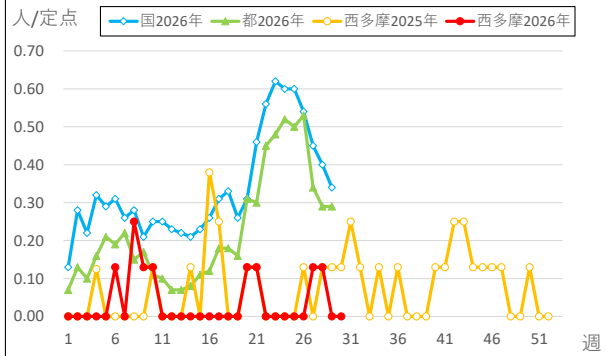
新型コロナウイルス感染症



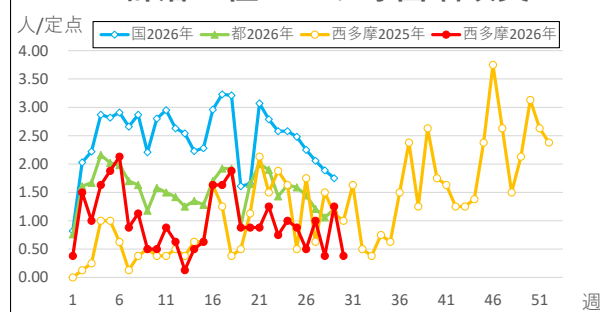
RSウイルス感染症



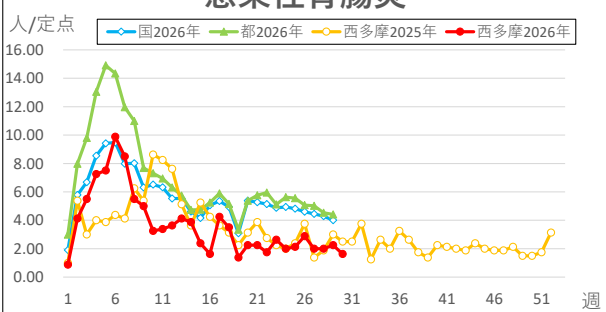
咽頭結膜熱



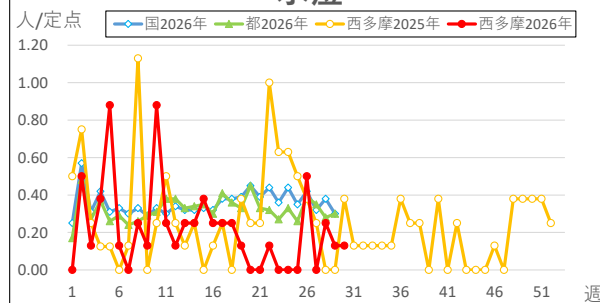
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



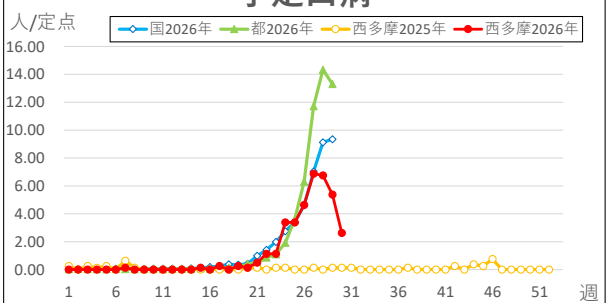
感染性胃腸炎



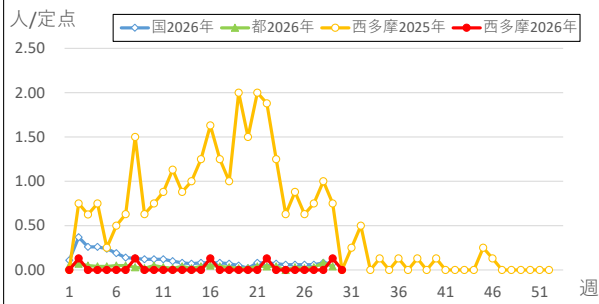
水痘



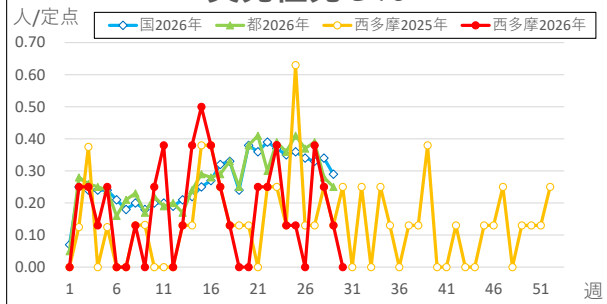
手足口病



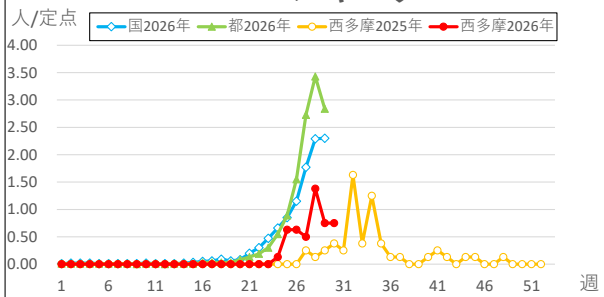
伝染性紅斑



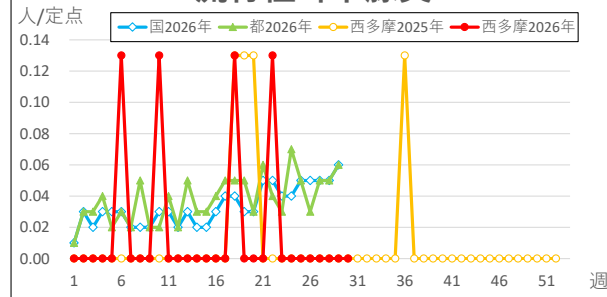
突発性発しん



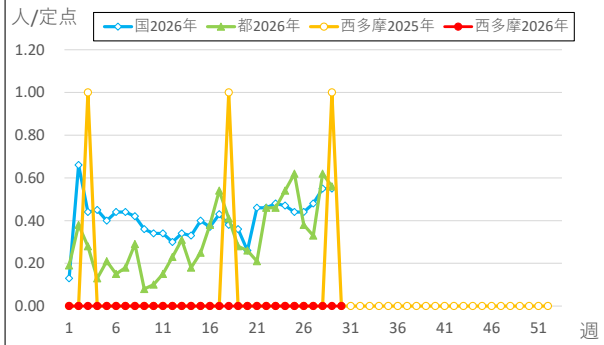
ヘルパンギーナ



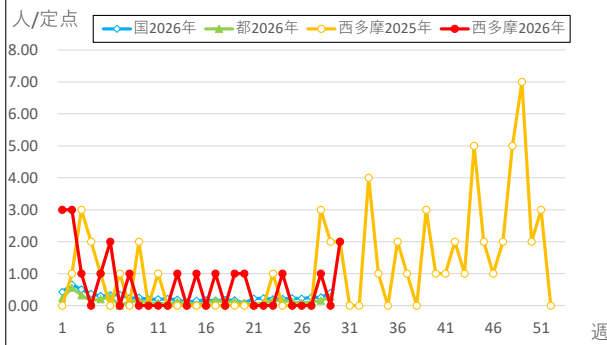
流行性耳下腺炎



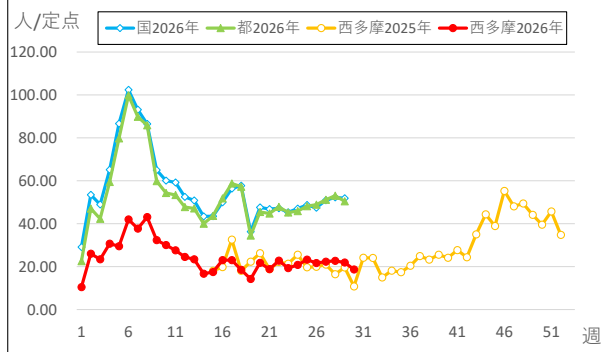
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



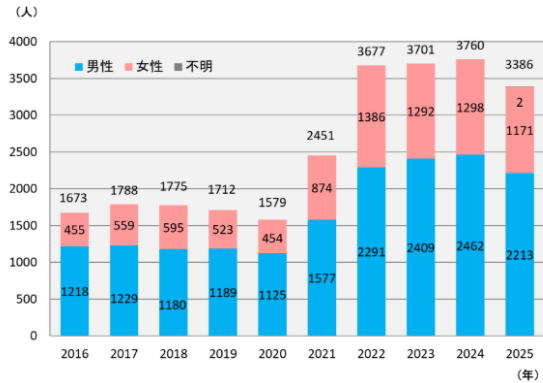
急性呼吸器感染症（ARI）



＊今週のトピックス＊

8月は都の梅毒集中啓発期間です～梅毒～

東京都の梅毒発生状況(右記)につきましては、2021年～2024年にかけては年々増加していましたが、2025年には前年より減少となりました。無症候性梅毒の方も一定数いると考えられ、それらの方々が未受診であることを考えると、実際の数値はこれ以上と思われます。



都内における梅毒報告数の男女別推移(東京都性感染症ナビ)

どのような病気ですか？

梅毒は梅毒トレポネーマという細菌が感染することで起こる感染症です。

性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。

感染すると、性器や肛門、口にしこりができたり、全身に発疹が現れたりします。

しかしながら、一旦症状が消えるため、発見が遅れることがしばしばあります。

潜伏期は約1か月です。梅毒は感染したあと、以下の経過をたどります。

第1期

感染後約1か月で、感染した場所(性器、肛門、口など)に、できもの、しこり、ただれなどができます。治療しなくても、数週間で症状は消えます。

第2期

感染後3か月程度経つと、手のひらや足の裏など全身に淡い赤色の発疹ができます。

治療しなくても、数週間から数か月で症状は消えます。

神経梅毒

第1～2期に中枢神経にトレポネーマが浸潤し、髄膜炎や眼症状を生じることがあります。

さらに放置すると進行麻痺や脊髄癆に移行する場合があります。



梅毒トレポネーマ

どのように感染しますか？

主に粘膜や皮膚の接触を伴う性行為などで感染します。

妊娠中に梅毒に感染すると、お腹の赤ちゃんに感染してしまうことがあります。(先天梅毒)

どのように治療・予防できますか？

治療としては、抗菌薬(内服薬もしくは注射薬)が有効です。

予防としてはコンドームの正しい装用が重要です。

また、感染が判明した段階で、パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。早期発見早期治療のために、上記の症状が現れた場合、早めに医療機関を受診しましょう。

右記の都民向けリーフレットも適宜ご参照ください。

なお、東京都では、保健所や検査・相談室で梅毒・HIV検査を行っております。匿名・無料でやっているため、是非ご活用ください。

事前予約が必要な場合がありますので、以下のホームページ

(東京都性感染症ナビ 検査・相談)をご確認の上、ご検討いただけますと幸いです。

2025年7月1日
東京都健康・安全・安心センター

梅毒ってどんな病気？

梅毒は梅毒トレポネーマという細菌によって引き起こされる感染症です。感染すると性器や肛門、口にしこりができたり、全身に発疹(はっしん)が現れたりしますが、一旦症状が消えるため気づかずに経過することがあります。しかし、梅毒は自然治癒しないため、早期に発見し、治療する必要があります。治療せずに放置すると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、HIV感染症との合併が問題となっています。妊娠中に梅毒に感染すると、胎児が感染してしまうことがあります。胎児が感染すると、死産、早産、新生児死亡、障害をもって生まれることがあります(先天梅毒)。

どのくらい多いの？

梅毒は2021年に年間2000件を超え、2022年～2024年の最近3年間は3500件を上回る報告数となっています。2025年は6月末時点で1700件を超えています。
男女比は2:1で、男性は30代、女性は20代が最も多く、先天梅毒も報告されています。

どうやってうつるの？

- 性行為により、病原体を含む唾液、膣分泌液、血液などに触れることで、粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。
- 妊娠中に感染すると母子感染することがあります。
- 治療しても、再感染します。

どうやって防ぐの？

- 性行為の際にコンドームを正しく使うことが有効です。
- 心配な時には検査を受けましょう。
- 症状がある時：医療機関で検査を受け、感染が分かれば早期に治療しましょう。
- 無症状の時：都内保健所等で、匿名・無料(HIV検査と同時)検査を実施しています。

詳しくは(東京都性感染症ナビ)から検索！

東京都性感染症ナビ 梅毒

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/knowledge/syphilis/index.html>

東京都性感染症ナビ 検査・相談

https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/inspection_consultation/index.html

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	1週目からの 累計
インフルエンザ	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.07)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.07)	1,721
新型コロナウイルス感染症	1 (0.07)	1 (0.07)	2 (0.14)	0 (0.00)	1 (0.07)	0 (0.00)	2 (0.14)	4 (0.29)	236
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
咽頭結膜熱	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 (0.75)	8 (1.00)	7 (0.88)	4 (0.50)	8 (1.00)	3 (0.38)	10 (1.25)	3 (0.38)	235
感染性胃腸炎	21 (2.63)	16 (2.00)	17 (2.13)	23 (2.88)	16 (2.00)	16 (2.00)	18 (2.25)	13 (1.63)	874
水痘（みずぼうそう）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4 (0.50)	0 (0.00)	2 (0.25)	1 (0.13)	1 (0.13)	52
手足口病	9 (1.13)	27 (3.38)	27 (3.38)	37 (4.63)	55 (6.88)	54 (6.75)	43 (5.38)	21 (2.63)	293
伝染性紅斑	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	5
突発性発しん	3 (0.38)	1 (0.13)	1 (0.13)	0 (0.00)	3 (0.38)	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	42
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	1 (0.13)	5 (0.63)	5 (0.63)	4 (0.50)	11 (1.38)	6 (0.75)	6 (0.75)	38
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	2 (2.00)	20
急性呼吸器感染症（ARI）	270 (19.29)	291 (20.79)	326 (23.29)	303 (21.64)	312 (22.29)	318 (22.71)	298 (21.29)	261 (18.64)	10,128

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
 ○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
 ○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
 ○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。
 〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>